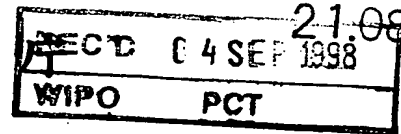


09/284698  
PCT/JP98/03712

4

日 本 国 特 許  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



21.08.98

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

1997年 8月26日

出 願 番 号  
Application Number:

平成 9年特許願第229027号

出 願 人  
Applicant(s):

ソニー株式会社

PRIORITY  
DOCUMENT

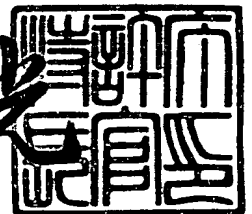
SUBMITTED OR TRANSMITTED  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

BEST AVAILABLE COPY

1998年 6月12日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

荒井 寿光



出証番号 出証特平10-304559

【書類名】 特許願

【整理番号】 9705106603

【提出日】 平成 9年 8月26日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04H 9/00

【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに伝送媒体

【請求項の数】 5

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社  
                                内

    【氏名】 本木 陽介

【特許出願人】

    【識別番号】 000002185

    【氏名又は名称】 ソニー株式会社

    【代表者】 出井 伸之

【代理人】

    【識別番号】 100082131

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 稲本 義雄

    【電話番号】 03-3369-6479

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 032089

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9708842

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに伝送媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶手段と、

電源がオンされたとき、前記記憶手段に記憶されている前記視聴内容に対応して初期画像として、前記EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記表示制御手段は、前記記憶手段に記憶されている視聴内容に対応して、EPGの番組ガイド、EPGにより指定されているおすすめ番組、または前記視聴内容のジャンルと同一ジャンルの番組を表示させる

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記表示制御手段は、EPGの番組ガイドを表示させる場合、現在の時刻から所定時間以内に放送される番組の情報を表示させる

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】 電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶ステップと、

電源がオンされたとき、前記記憶ステップで記憶された前記視聴内容に対応して初期画像として、前記EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御ステップとを備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項5】 電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶ステップと、

電源がオンされたとき、前記記憶ステップで記憶された前記視聴内容に対応して初期画像として、前記EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御ステップとを有するプログラムを伝送することを特徴とする伝送媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置および方法、並びに伝送媒体に関し、特に、電源がオ

フされるときに記憶された視聴内容に対応して、初期画像を表示させることにより、迅速かつ確実に、所望の番組を選択することができるようにした情報処理装置および方法、並びに伝送媒体に関する。

## 【0002】

## 【従来の技術】

近年、デジタル放送やケーブルテレビジョン等のように、そのチャンネル数が100チャンネル以上となってきた。このようにチャンネル数が増えると、多数のチャンネルの番組の中から所望の番組を選択することが困難になる。そこで、番組提供者側から、番組選択を支援するために、EPG (Electrical Program Guide: 電子番組ガイド) を伝送することが提案されている。図16は、このようなEPGの番組選択画面の表示例を示している。この例においては、4×4に分割された小画面に、番組の内容を示す縮小画像が表示されている。

## 【0003】

図17は、このような番組選択を行う場合において用いられるリモートコントローラの構成例を示している。この例においては、番号ボタンとカーソルボタンが設けられている。チャンネル数が増えると、番号ボタンによる番組の選択は困難となるので、通常、図16のような番組選択画面においては、カーソルボタンを用いて番組選択を行う。ユーザは、このカーソルボタンを操作することにより、カーソルを上下左右に移動させることができる。そして、所望の番組の縮小画像上にカーソルを位置させ、決定ボタンを操作することにより、その番組を選択することができる。

## 【0004】

図18は、EPGの番組選択画面の他の表示例を示している。この例においては、チャンネルリストとして6つのチャンネルが表示され、各チャンネル毎に、放送される(放送されている)番組(program)が、番組表として時間帯別に表示されている。ユーザは、図16に示した場合と同様に、リモートコントローラのカーソルボタンを操作し、カーソルを所望の番組上に位置させ、決定ボタンを操作することにより、その番組の選択をすることができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような従来のEPGは、新聞や番組情報誌などに記載されているような、チャンネルと放送時刻によって規定される番組欄としての域を出ず、各番組をより効果的に各ユーザに提供するのを支援することができない。そのため、番組の選択が煩雑となり、迅速に所望の番組を選択することができない課題があった。

【0006】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、より迅速かつ確実に所望の番組を選択することができるようにするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の情報処理装置は、電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶手段と、電源がオンされたとき、記憶手段に記憶されている視聴内容に対応して初期画像として、EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【0008】

請求項4に記載の情報処理方法は、電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶ステップと、電源がオンされたとき、記憶ステップで記憶された視聴内容に対応して初期画像として、EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御ステップとを備えることを特徴とする。

【0009】

請求項5に記載の伝送媒体は、電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶ステップと、電源がオンされたとき、記憶ステップで記憶された視聴内容に対応して初期画像として、EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御ステップとを有するプログラムを伝送することを特徴とする。

【0010】

請求項1に記載の情報処理装置、請求項4に記載の情報処理方法、および請求

項5に記載の伝送媒体においては、情報処理装置の電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が記憶され、情報処理装置の電源がオンされたとき、記憶されている視聴内容に対応して初期画像として、EPGまたは所定の番組の画像が表示される。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を説明するが、特許請求の範囲に記載の発明の各手段と以下の実施の形態との対応関係を明らかにするために、各手段の後の括弧内に、対応する実施の形態（但し一例）を付加して本発明の特徴を記述すると、次のようになる。但し勿論この記載は、各手段を記載したものに限定することを意味するものではない。

【0012】

請求項1に記載の情報処理装置は、電源がオフされたとき、その直前の視聴内容が、EPGと番組のいずれであるかを記憶する記憶手段（例えば、図2のハードディスク22）と、電源がオンされたとき、記憶手段に記憶されている視聴内容に対応して初期画像として、EPGまたは所定の番組を表示させる表示制御手段（例えば、図2のCPU16）とを備えることを特徴とする。

【0013】

図1は、本発明を適用したAVシステムおよび通信ネットワークを説明する図である。この例においては、セットトップボックスとして構成される受信装置1には、モニター5が接続されている。番組放送会社61から送信される番組およびEPGは、衛星62、放送アンテナ63、またはインターネット64等を介して受信装置1により受信される。EPGは、番組放送会社61から配信されるもの以外に、図示せぬテレビガイドサービス会社等からも配信される。受信装置1は、ユーザがリモートコントローラ7を操作することにより出力される赤外線信号を受信し、受信した信号に対応する処理を行い、所定の番組またはEPGの画像をモニター5に表示するようになっている。

【0014】

図2は、本発明を適用したAVシステムの電氣的な構成例を表している。この

AVシステムにおいては、受信装置1、ビデオデッキ2、CDプレーヤ3、増幅器4、およびモニタ5が、IEEE1394バス6により相互に接続されている。

【0015】

受信装置1は、チューナ11、チューナ13、および通信モジュール14を有している。チューナ11は、アンテナ12を介して地上波のテレビジョン放送を受信する。チューナ13は、ケーブルテレビジョン放送を受信する。通信モジュール14は、電話回線に接続され、インターネット、その他のネットワークを介して、通信を行うようになされている。

【0016】

映像処理モジュール15は、チューナ11、13、または通信モジュール14より供給された映像信号を処理するようになされている。CPU16は、ROM20に記憶されているプログラムに従って各種の処理を実行するようになされている。時計17は、常に計時動作を行っており、CPU16に対して時刻情報を与える。リモートコントローラ受信モジュール18は、リモートコントローラ7より出力される赤外線信号を受信し、その受信した信号に対応する信号をCPU16に出力するようになされている。

【0017】

AV制御モジュール19は、1394バス6に接続され、1394バス6に接続されている他の情報処理装置としてのビデオデッキ2、CDプレーヤ3、増幅器4、モニタ5などとの間における信号の授受に関するインタフェース処理を行うようになされている。RAM21には、CPU16が各種の処理を実行する上において必要な各種のデータやプログラムなどが必要に応じて記憶される。ハードディスク22には、EPGを始めとする各種の情報が記憶されるようになされている。内部バス23は、受信装置1の内部の各モジュールなどを相互に接続している。

【0018】

ビデオデッキ2は、1394バス6との間のインタフェース処理を行うAVモジュール31と各種の情報を記憶するメモリ32を有している。CDプレーヤ3も、ビデオデッキ2と同様に、AV制御モジュール48とメモリ42を有している。増幅器4は、1394バス6との間のインタフェース処理を行うAV制御モ

ジュール51と、各種のデータなどを記憶するメモリ52を有している他、スピーカ53が接続されている。

【0019】

チューナ11は、図3と図4に示すように、その上面に、32ビット分の受部62が設けられ、その下面に、32ビット分のピン61が設けられている。これらは32ビットの内部バス23に接続されている。図示は省略するが、チューナ13、通信モジュール14なども、同様に、その上面と下面に受部とピンが設けられており、例えば、図5に示すように、チューナ11の上にチューナ13を載置すると、チューナ13のピン61が、チューナ11の受部62に結合されるようになされている。これにより、図6に示すように、チューナ11の内部回路11Aと、チューナ13の内部回路13Aが、32ビットの内部バス23に電氣的に接続される。

【0020】

図示は省略するが、通信モジュール14も同様に、受部とピンを有しており、例えば、図5に示すチューナ13の上に載置することにより、通信モジュール14の内部回路が内部バス23に接続される。

【0021】

このような構成にすることにより、各モジュールを積載するだけで、内部回路を内部バス23に電氣的に接続することができる。従って、少ない占有スペース内において、適宜必要なモジュールを簡単に追加することができる。

【0022】

図7と図8は、リモートコントローラ7の構成例を示している。電源ボタン101は、受信装置1の電源をオンまたはオフするとき操作される。ジャンル選択ボタン102は、所定のジャンルを選択するとき操作される。この例においては、「ニュース」、「スポーツ」、「バラエティ」、「情報」、「アニメ」、「ショッピング」、「天気予報」、「映画」、「ドラマ」、「教育」、「音楽」、および「おすすめ」の各ジャンル選択ボタンが設けられている。

【0023】

ジャンル選択ボタン102の下方には、番組選択カーソルボタン103が設け



られている。この番組選択カーソルボタン103は、カーソルを上方に移動するとき操作されるボタン103C、カーソルを下方に移動するとき操作されるボタン103D、戻る操作をするとき操作されるボタン103A、進む操作をするとき操作されるボタン103B、および決定処理を行うとき操作されるボタン103Eにより構成されている。

【0024】

お好みボタン104は、所定の番組をお好み番組リストに登録するとき操作される。EPG切替ボタン105は、複数種類のEPGの中から、所定の種類のEPGを選択するとき操作される。

【0025】

リモートコントローラ7の左側面に設けられている案内ボタン106は、アシスタント画面を表示させるとき操作される。リモートコントローラ7の右側面に設けられている音声調節ダイヤル107は、上方または下方に廻すことにより、音声を調節することができる。また、音声調整ダイヤル107は、押下すると、音声出力方式の選択モードとなり、この状態において、ダイヤルを上方または下方に廻して所望の音声出力方式（例えば、2ヶ国語等）を選択し、再び押下すると、現在の音声出力方式が、選択された音声出力方式に切り換えられるようになっている。

【0026】

カバー108は、開閉可能になされており、これを開くと、図8に示すように、番号ボタン109および各種設定ボタン110が現れる。番号ボタン109は、例えば、電話番号などの数字を入力するとき操作される。各種設定ボタン110は、所定の設定を行うとき操作される。

【0027】

リモートコントローラ7の所定のボタンを操作すると赤外線信号が発生され、受信装置1のリモートコントローラ受信モジュール18に受信される。リモートコントローラ受信モジュール18は、操作されたボタンに対応する信号をCPU16に出力する。CPU16は、操作されたボタンに対応する処理を実行するようになっている。

## 【0028】

次に、図9のフローチャートを参照して、受信装置1の電源がオンされた場合において、初期画像を表示する処理を説明する。ここで、受信装置1の電源がオフされる毎に、その直前に視聴されていた内容が、ハードディスク22に記憶（更新）されているものとする（この点の詳細は、図15を用いて後述する）。受信装置1の電源がオフされている状態で、ユーザがリモートコントローラ7のボタン101を操作した場合、まず、ステップS1において、受信装置1の電源がオンされる。ステップS2において、CPU16は、最後に電源がオフされたとき記憶された視聴内容がEPGであるか否かを判定し、EPGであると判定した場合、ステップS7に進み、EPGの番組ガイドをモニタ5に表示させる処理を実行する。これにより、例えば、図10に示すような番組ガイドが、モニタ5に表示される。

## 【0029】

このとき、番組ガイドには、現在の時刻から所定時間（例えば、2時間）以内に放送される番組の情報が表示されるようになされている。

## 【0030】

ステップS2において、記憶されている視聴内容がEPGではない（例えば、所定の番組である）と判定された場合、ステップS3において、EPGのおすすめ番組リストに登録されている番組の中に、現在の時刻において放送されている番組が存在するか否かが判定され、現在の時刻において放送されているおすすめ番組が存在すると判定された場合、ステップS4に進み、CPU16は、チューナ11またはチューナ13を制御し、そのおすすめ番組を受信させ、その画像をモニタ5に表示させる処理を実行する。

## 【0031】

ステップS3において、現在の時刻において放送されているおすすめ番組が存在しないと判定された場合、ステップS5に進む。ステップS5では、電源オフ時に試聴していた番組のジャンルとして記憶されているジャンル（例えば、ニュース）の番組が、現在の時刻において放送されているか否かが判定され、現在の時刻において対応するジャンルの番組が放送されていると判定された場合、ステ

ップS 6に進み、CPU 1 6は、チューナ 1 1またはチューナ 1 3を制御し、その番組を受信させ、その画像をモニタ 5に表示させる処理を実行する。これにより、例えば、図 1 1に示すような番組の画像がモニタ 5に表示される。ステップ S 5において、現在の時刻において、対応するジャンルの番組が放送されていないと判定された場合、ステップ S 7に進み、CPU 1 6は、EPGの番組ガイドをモニタ 5に表示させる処理を実行する。

【0032】

このようにして、受信装置 1の電源がオンされたときの初期画像が表示される。

【0033】

なお、ユーザにより、初期画像の優先順位を設定することが可能とされている。

【0034】

図 1 0のEPGの番組ガイドの表示例においては、画面の左側に、5つの番組が番組ロゴで表示されており、この5つの番組に対応するジャンル名が画面の上方に表示されている。ジャンル名の右側には、その番組の放送日時が表示される。さらに、この表示例においては、番組の画像の右側に、その番組の内容を示すテキストが表示される。そして、番組の画像の下側には、番組の内容を示すテキストまたは広告が表示される。また、画面の下方には、各種のメッセージが表示される。

【0035】

ユーザが、所定の番組を選択するとき、リモートコントローラ 7のボタン 1 0 3 Cまたは 1 0 3 Dを操作すると、5つの番組ロゴのいずれかの上に位置するカーソルが上下に移動する。そして、カーソルが位置する番組の縮小画像が画面の中央に表示される。この状態において、ユーザがボタン 1 0 3 Eを操作すると、例えば、図 1 1に示すように、選択された番組の画像が表示される。

【0036】

また、ユーザが、図 1 0に示すような状態において、リモートコントローラ 7のボタン 1 0 3 Aまたは 1 0 3 Bを操作すると、ジャンルが切り換わるとともに

、一覧表示されている番組がそのジャンルに対応する番組に切り換わる。ボタン103Aを連続して操作すると、例えば、「ニュース」、「スポーツ」、「バラエティ」、「情報」、「アニメ」、「ショッピング」、「天気予報」、「映画」、「ドラマ」、「教育」、「音楽」、および「おすすめ」のように、ジャンルが巡回して切り換わるようになされている。また、ボタン103Bを連続して操作すると、ボタン103Aの場合とは逆の巡回方向にジャンルが切り換わる。

## 【0037】

なお、このようなジャンルの切換処理は、番組ガイドが表示されている状態ではなく、例えば、図11に示すように、通常の番組の画像がモニタ5に表示されている状態において、ボタン103Aまたは103Bが操作された場合にも、同様に実行される。

## 【0038】

次に、図12のフローチャートを参照して、リモートコントローラ7のお好みボタン104を操作した場合の処理例について説明する。ユーザが、例えば、図10に示すような状態において、お好みボタン104を操作した場合、ステップS11において、対応する番組がおすすめ番組リスト中に登録されているか否かが判定される。ユーザは、例えば、図10に示されている「番組2」の画像、またはその内容を見て、この番組を見たいと思ったときは、お好みボタン104を操作する。この「番組2」が、おすすめ番組リスト中にまだ登録されていない場合には、ステップS12に進み、おすすめ番組リストに登録する処理が実行され、図13に示すように、登録された「番組2」上にチェックマークが表示される。

## 【0039】

ステップS11において、指定された番組がおすすめリストに既に登録されていると判定された場合、ステップS13に進み、その番組をおすすめ番組リストから削除する処理が実行される。

## 【0040】

なお、以上の処理は、番組ガイドが表示されている状態ではなく、図11に示すように、通常の番組の画像がモニタ5に表示されている状態において、お好み

ボタン104が操作された場合にも同様に実行され、図14に示すように、現在視聴している番組が登録されることを表すメッセージ画像が、現在放送中の画像に重畳してモニタ5に表示される。

【0041】

以上のようにして、ユーザは、所望の番組をおすすめ番組リスト中に登録することができる。ユーザがリモートコントローラ7のジャンル選択ボタン102中のおすすめボタンを選択すると、以上のようにして番組を登録したおすすめ番組リストがモニタ5に表示される。

【0042】

次に、図15のフローチャートを参照して、受信装置1がオフされる直前の視聴内容を記憶する処理を説明する。モニタ5に、EPGまたは通常の番組が表示されている状態において、ユーザが、リモートコントローラ7のボタン101を操作した場合、ステップS101において、CPU16は、現在の視聴内容を、ハードディスク22に記録させる。そして、ステップS102において、受信装置1の電源がオフされる。

【0043】

このように、電源がオフされる直前の視聴内容を記憶することにより、次に電源がオンされたとき、記憶されている視聴内容に対応して、初期画像が表示されることになる。

【0044】

なお、上記したような処理を行うプログラムをユーザに伝送する伝送媒体としては、磁気ディスク、CD-ROM、固体メモリなどの記録媒体の他、ネットワーク、衛星などの通信媒体を利用することができる。

【0045】

【発明の効果】

以上の如く、請求項1に記載の情報処理装置、請求項4に記載の情報処理方法、および請求項5に記載の伝送媒体によれば、電源がオフされる直前の視聴画面を記憶し、電源がオンされたときに、記憶されている視聴画面に対応して、初期画像を表示させるようにしたので、より迅速かつ確実に、目的とする番組を選択

することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用した A V システムおよび通信ネットワークを説明する図である。

【図 2】

本発明を適用した A V システムの電氣的な構成例を示すブロック図である。

【図 3】

図 2 のチューナ 1 1 の外観構成を示す斜視図である。

【図 4】

図 2 のチューナ 1 1 の外観構成を示す斜視図である。

【図 5】

図 2 のチューナ 1 1 とチューナ 1 3 を積載した状態を示す図である。

【図 6】

図 2 のチューナ 1 1 とチューナ 1 3 の内部回路の接続状態を示す図である。

【図 7】

図 2 のリモートコントローラ 7 の詳細な構成を示す図である。

【図 8】

図 2 のリモートコントローラ 7 の詳細な構成を示す図である。

【図 9】

初期画像の表示処理を説明するフローチャートである。

【図 10】

番組ガイドの表示例を示す図である。

【図 11】

通常の番組の表示例を示す図である。

【図 12】

図 7 のお好みボタン 1 0 4 が操作された場合の処理を説明するフローチャートである。

【図 13】

お好みボタン 1 0 4 が操作された場合の番組ガイドの表示例を示す図である。

【図14】

お好みボタン104が操作された場合の通常の番組の表示例を示す図である。

【図15】

視聴内容の記憶処理を説明するフローチャートである。

【図16】

従来のEPGの番組選択画面の表示例を示す図である。

【図17】

従来のリモートコントローラの構成例を示す図である。

【図18】

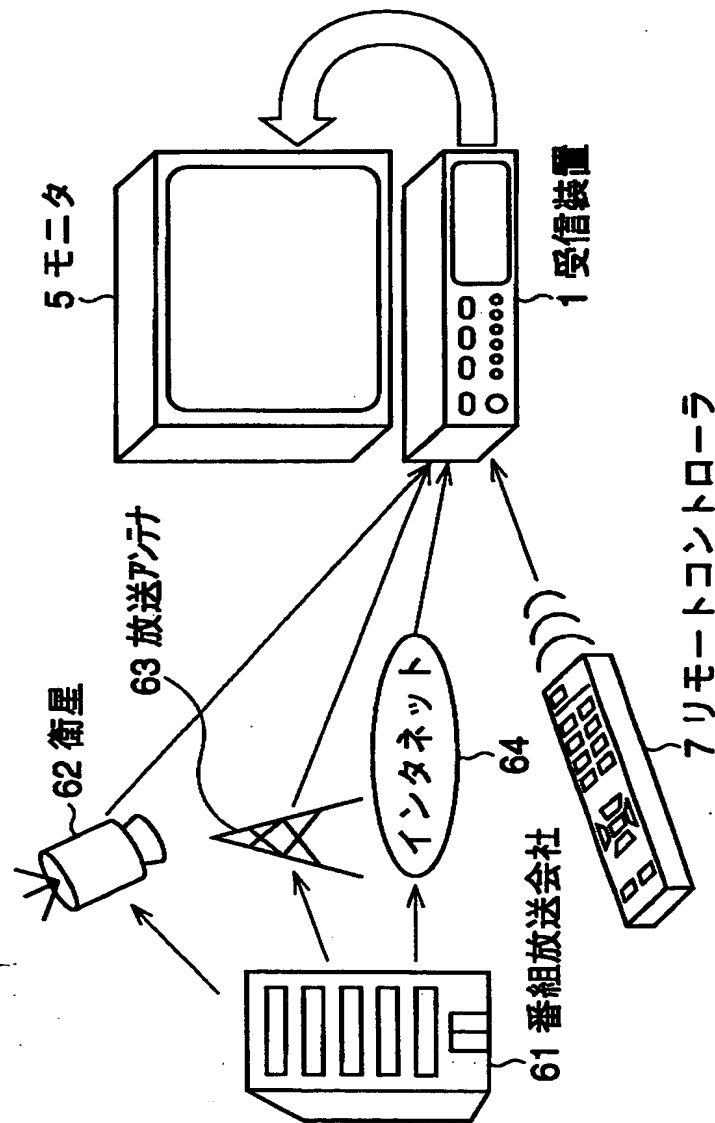
従来のEPGの番組選択画面の他の表示例を示す図である。

【符号の説明】

1 受信装置, 2 ビデオデッキ, 3 CDプレーヤ, 4 増幅器,  
5 モニタ, 7 リモートコントローラ, 11, 13 チューナ, 14  
通信モジュール, 16 CPU, 22 ハードディスク

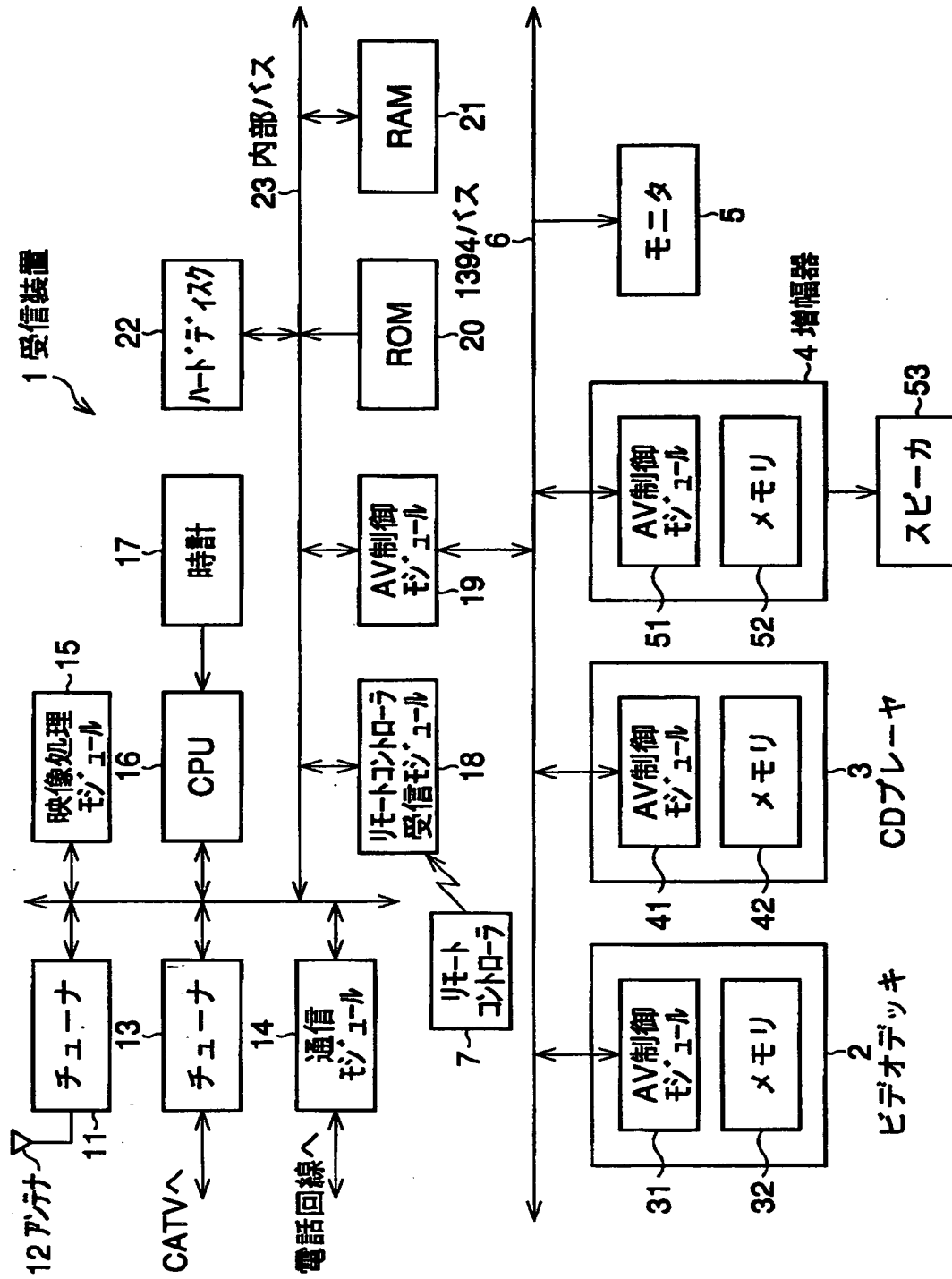
【書類名】 図面

【図 1】

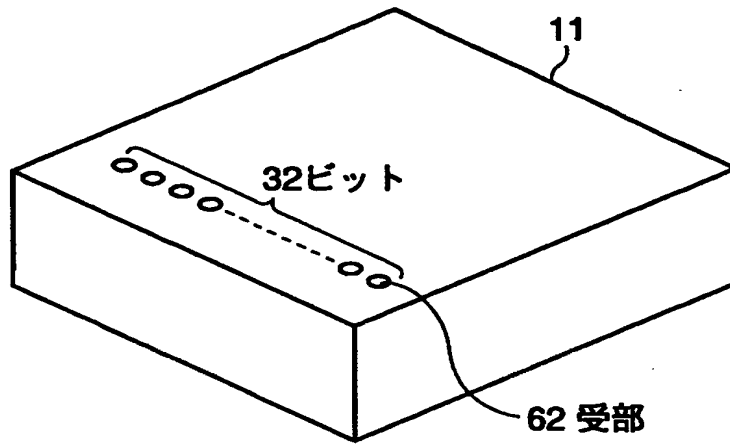




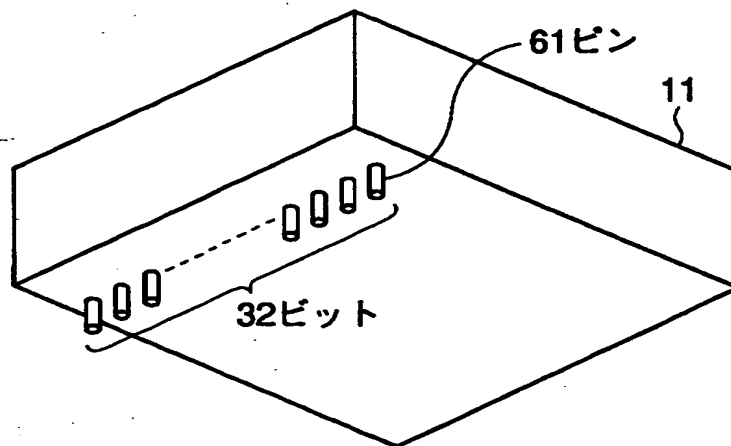
【図2】



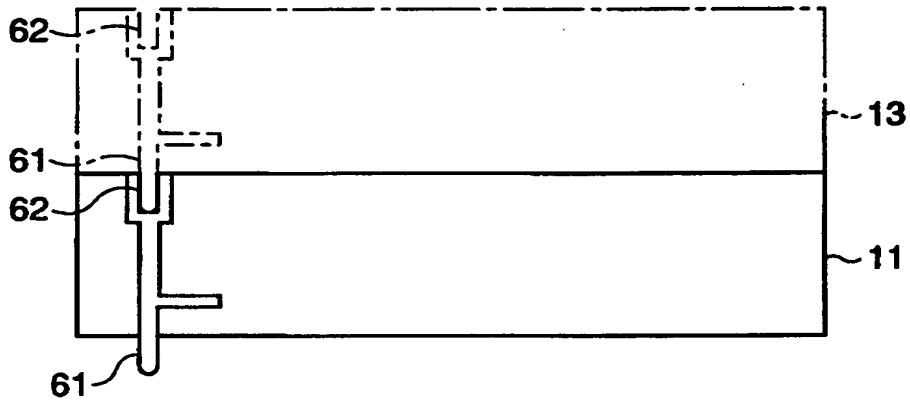
【図3】



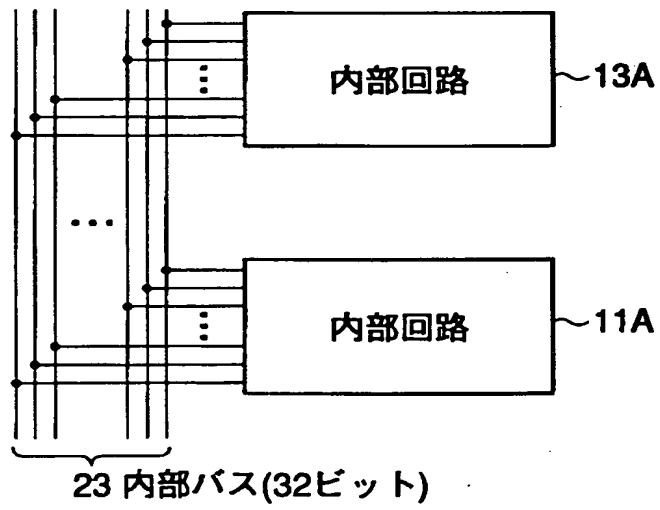
【図4】



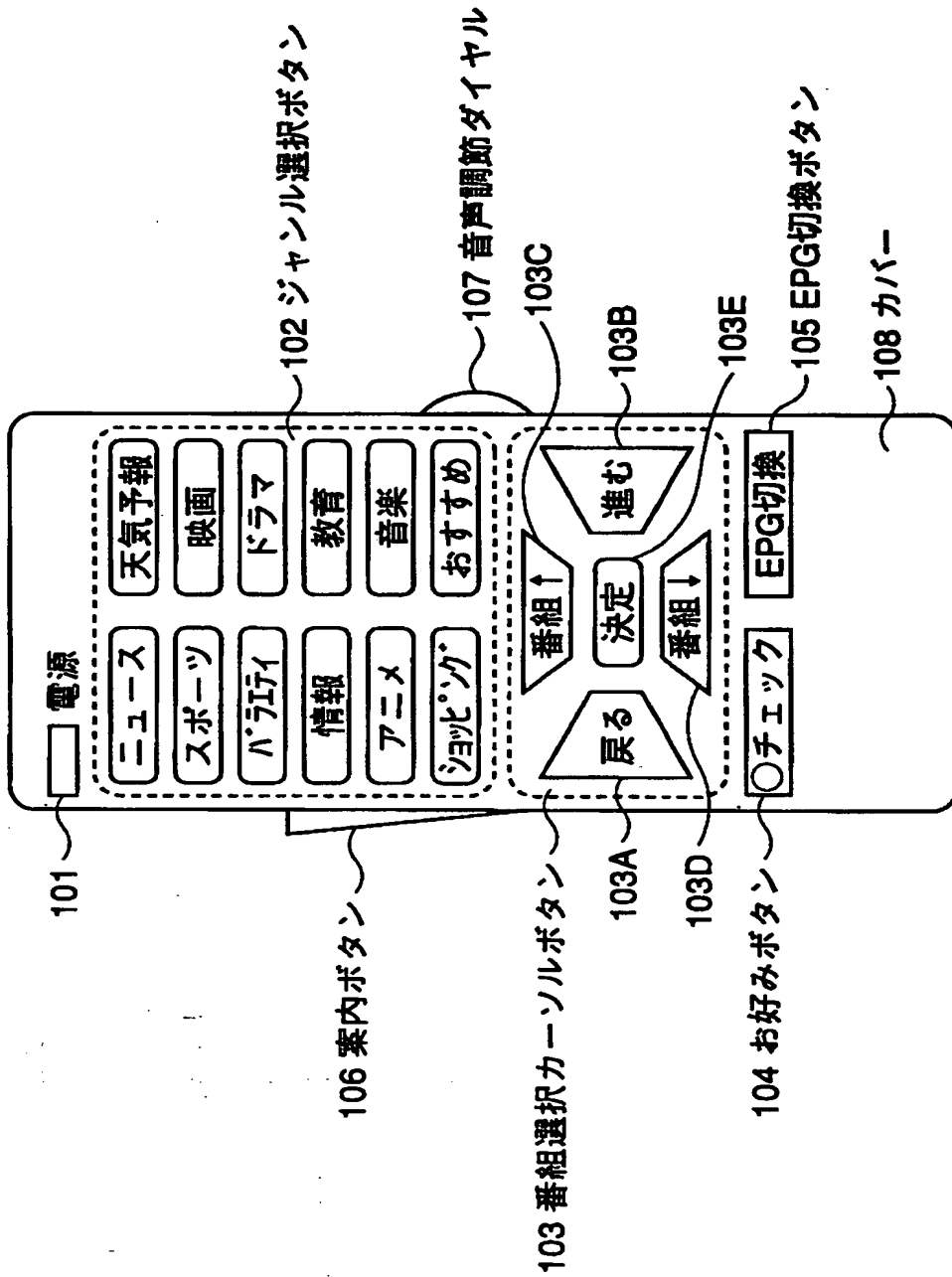
【図5】



【図6】

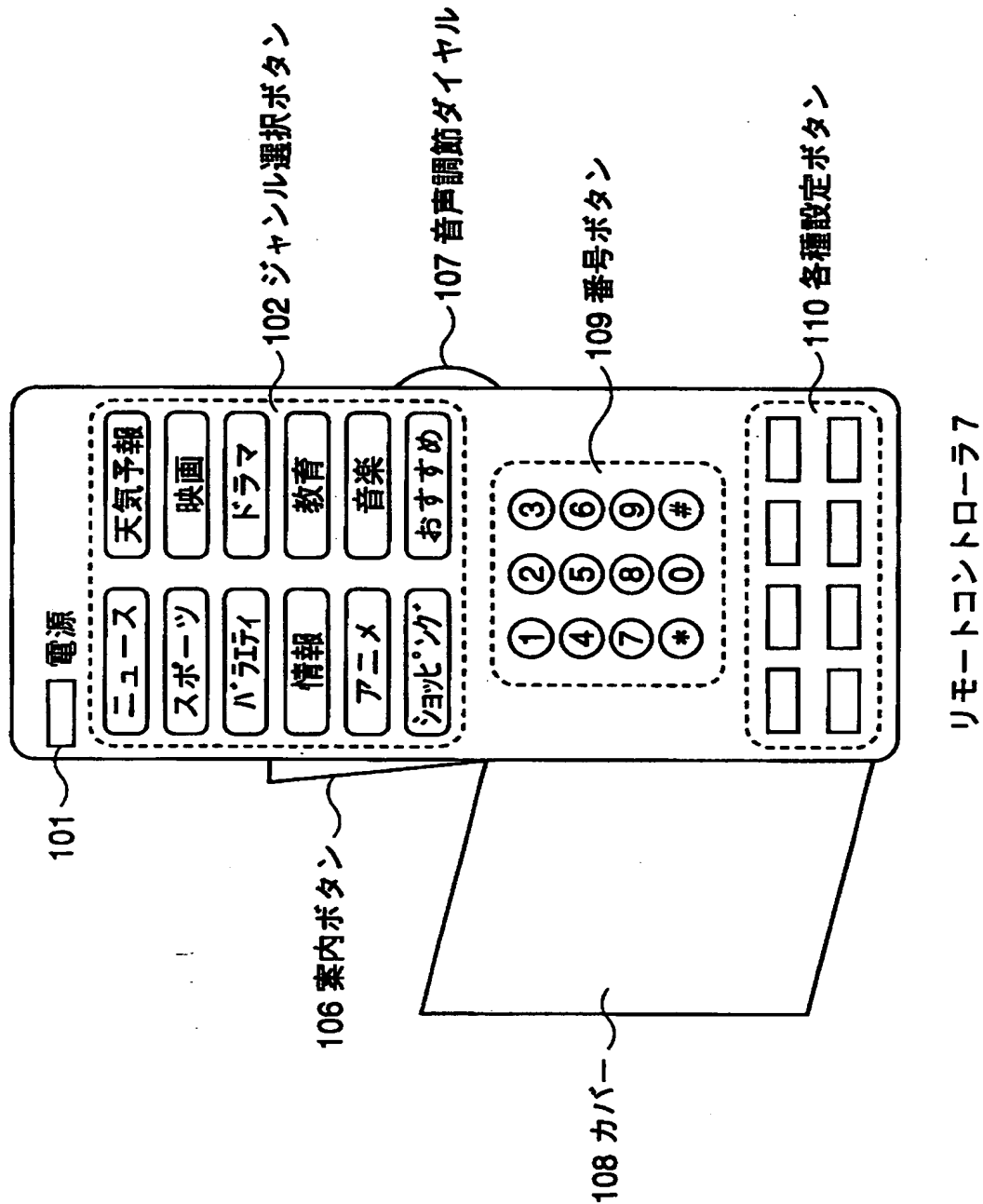


【図7】

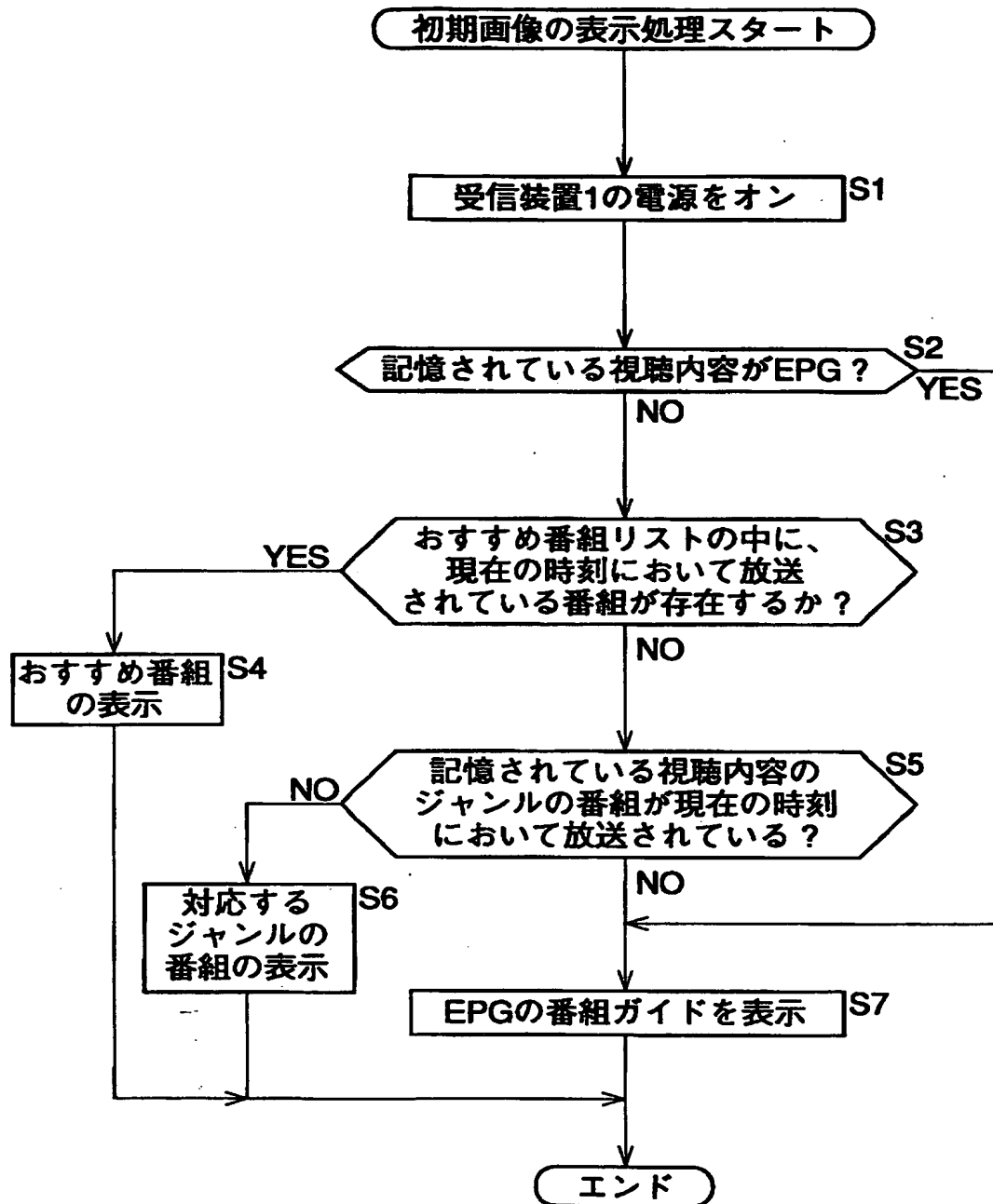


リモートコントローラ7

【図8】



【図9】



【図10】

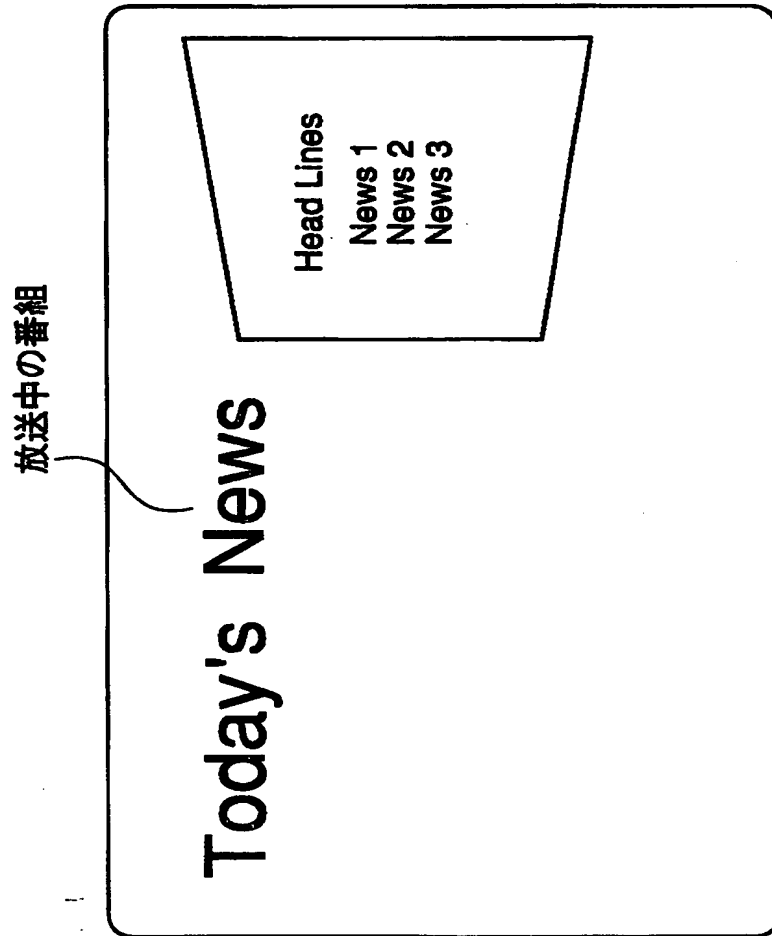
番組紹介に関して、表示形式が  
特に指定されていない場合の表示

ジャンル名		6月24日 (火) 11:29 AM	
番組1	番組2	番組2のTV子画面	番組2の内容表示 or 広告
番組3	番組4		
番組5	メッセージ表示		

カーソル

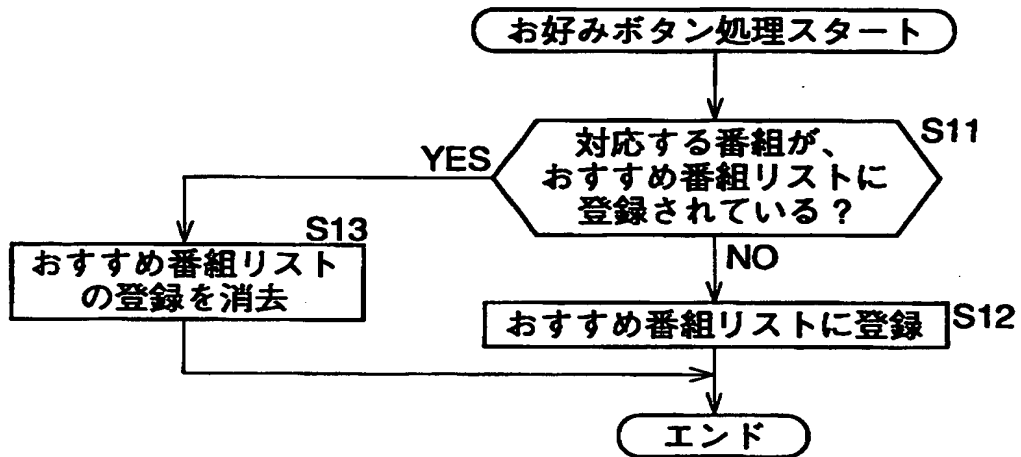
標準の番組紹介の表示

【図11】





【図12】

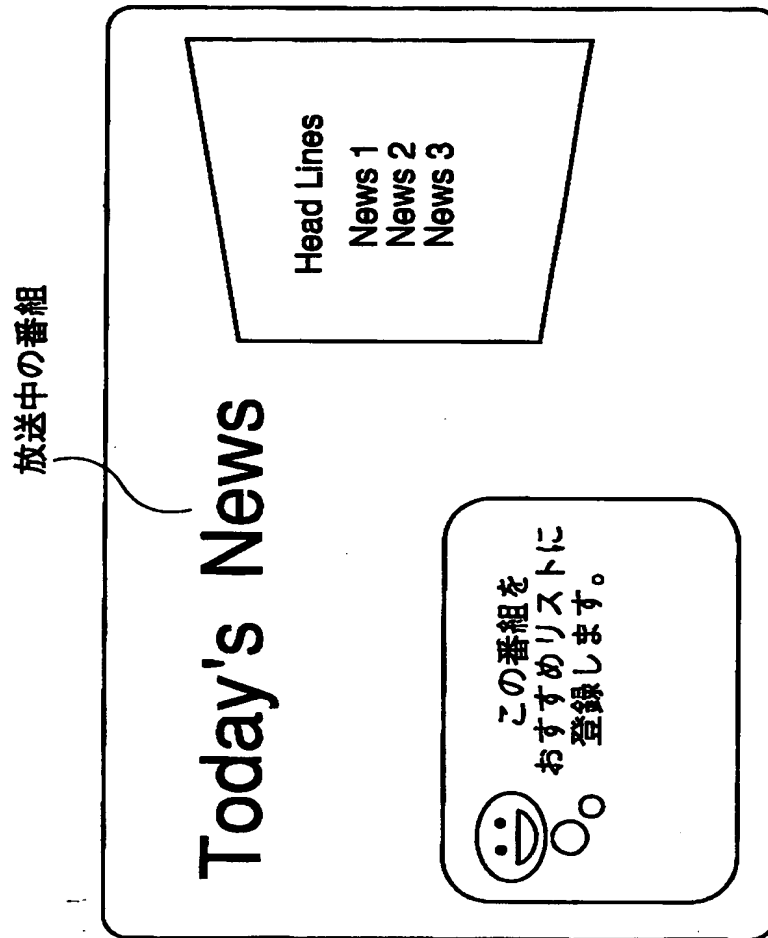


【図13】

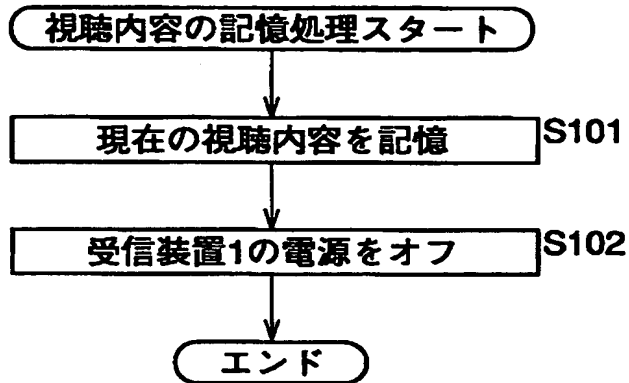
ジャンル名		6月24日 (火) 11:29 AM	
番組1	番組2	番組2のTV子画面	番組2の内容表示
番組3	番組4		
番組5	番組2の内容表示 or 広告		
メッセージ表示			

チェックマーク

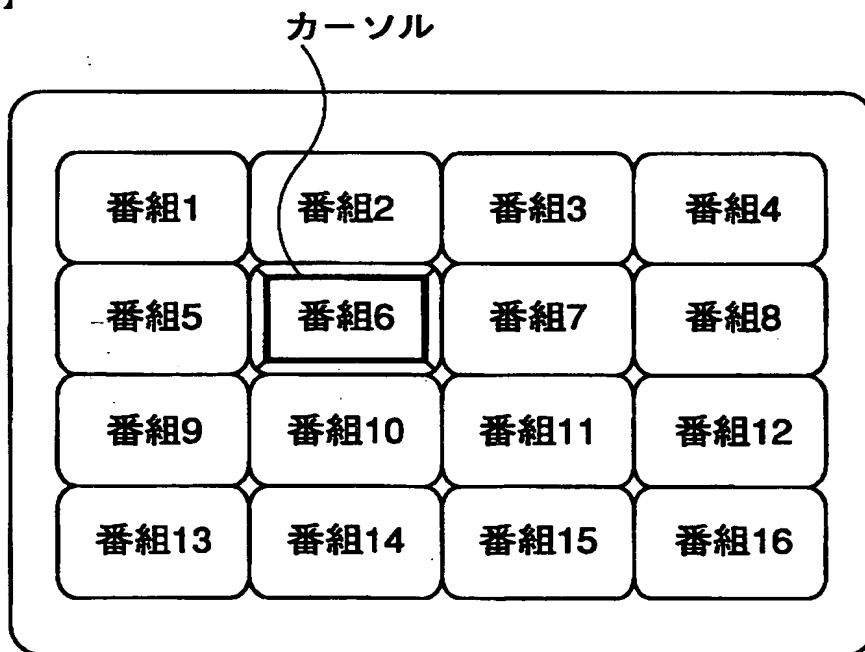
【図14】



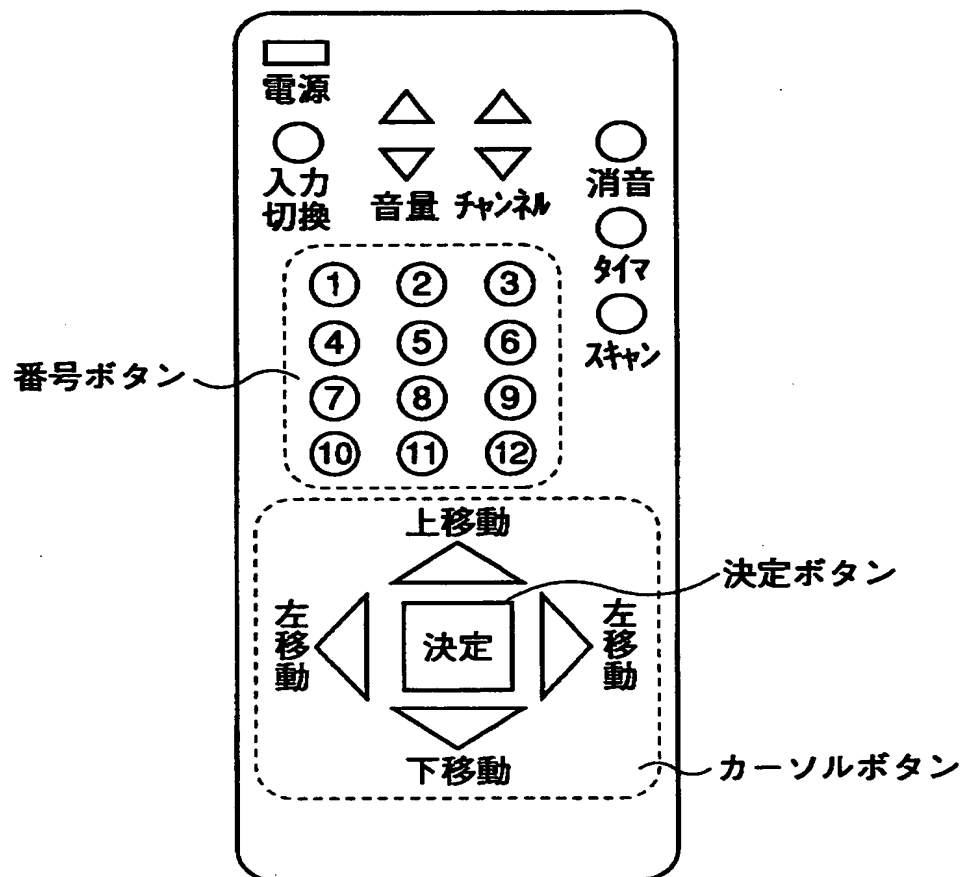
【図15】



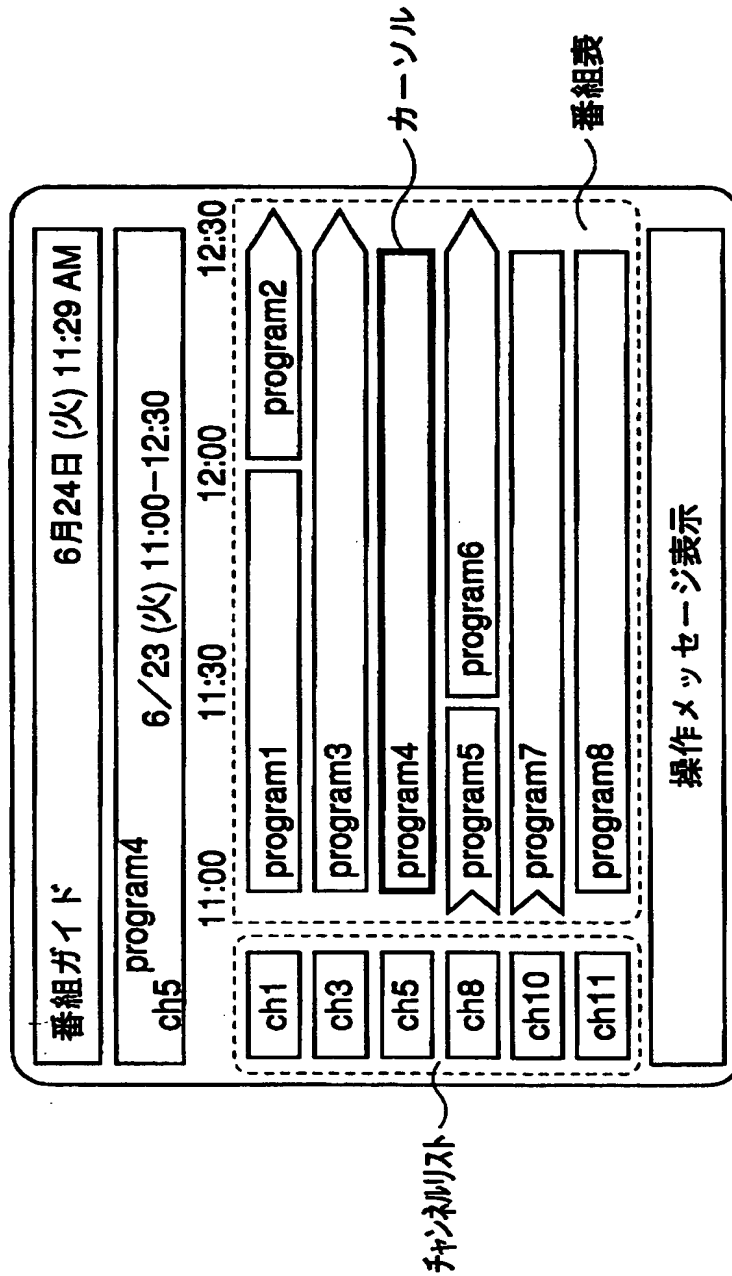
【図16】



【図17】



【図18】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 より迅速かつ確実に、目的とする番組を選択する

【解決手段】 電源がオフされる直前の視聴内容をハードディスク22に記憶させ、電源がオンされたとき、CPU16は、記憶されている視聴内容に対応して、初期画像をモニタ5に表示させる。

【選択図】 図2

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100082131

【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿7丁目5番8号 GOWA西新宿ビル6F 稲本国際特許事務所

【氏名又は名称】 稲本 義雄



【書類名】 手続補正書

【提出日】 平成 9年 9月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 平成 9年特許願第229027号

【補正をする者】

【事件との関係】 特許出願人

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100082131

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲本 義雄

【電話番号】 03-3369-6479

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 発明者

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 木本 陽介

【提出物件の目録】

【物件名】 理由書 1

【物件名】 発明報告書（受付番号97051066） 表  
紙コピー 1



29718000072



書類 No. 理由書

発 明 報 告 書

登録番号 平成9年特許願第229027号

SONY

発明者の氏名は自分自身でコピーして貼付してください。

知的財産部行き

提出日 1997 年 6 月 30 日		発明評価チェックシート(横書きフォーマットを裏面に添付)も記入願います。95.02.01改版			
発明の名称: ジャンル別選択機能、及び操作支援機能を持つ番組ガイドシステム					
発明の概要: デジタル多チャンネル時代において、複数のチャンネルから所望の番組を早く選択する機能が必 となる。これを、利用者に対してより早く、効果的な情報を提供するために、番組のジャンル別選択機能を持 つコントローラとそれに対応したガイドシステム、また利用のための支援情報を提供するアシスタント機能に よって実現する。(140文字程度にまとめて下さい。)					
発明者とは発明に実質的に寄与した人を指します。当社従業員以外の人が含まれる場合及び他社との共同出願 を行う場合にはその旨を記載して下さい。共同出願の場合には共同出願依頼書も添付して下さい。					
TEC (お名前)	所属部署名 (外線電話番号) (内線)	職能格	従業員番号	氏名 (ゴム印を使用して下さい)	作成者 に○
本社	7-ナカハ研究所 77101730 (5448-4448) (4448)	S4	960058	ローマ字 Kimoto Yousuke 筆頭 発明者 960058木本陽介 ローマ字 ローマ字	○
	( ) ( )			ローマ字	
	( ) ( )			ローマ字	
	( ) ( )			ローマ字	
プロジェクト名: Aperiis		関連資料の有無			
製番: K0534-747		発明報告書・論文		先行技術調査	
開発状況 <input type="checkbox"/> 公表予定 <input type="checkbox"/> 案のみ <input checked="" type="checkbox"/> 実験試作中 <input type="checkbox"/> 実施予定 発明名: 199 年 月 日 展示/発表/発表/発表 他 ( )		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (No: 96007726 ) (No: ) (No: ) 検討した特許・文献 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 No: )		<input type="checkbox"/> 調査済 <input checked="" type="checkbox"/> 未調査 <input type="checkbox"/> PATOLIS <input type="checkbox"/> PASCAL <input type="checkbox"/> SIP調査 <input type="checkbox"/> 他 ( ) <input type="checkbox"/> 他 ( )	

上記の項目及び発明内容を確認後、発明の評価及びその根拠等をできるだけ詳しくお書き下さい。						
Project	統括部長	手続き(裏面確認)	外国出願の希望	統括部長	特許担当	特許推進 責任者
		<input checked="" type="checkbox"/> 重点処理 (S) <input type="checkbox"/> 通常処理 (R) <input type="checkbox"/> 知的財産部一任(O) (公開依頼/出願)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 他社海外実施可能性大 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 海外販売大(アクセサリ含) <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 海外生産可能性大 <input type="checkbox"/> 海外製造ライセンスに有用 <input type="checkbox"/> 他 ( )			
ご意見 記入欄				特許推進計画書PJコード 1997-PJ00123		

担当Gp	担当者	記載	発明性	受付番号	受付番
2-11 21.6.30 花谷	H08	1 2 3 4	1 2 3 4	97051066	

知的財産部

51066 ☐ 知的財産用

メモ欄

☐ 事務所用 1/1

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 手続補正書

<認定情報・付加情報>

【補正をする者】

【識別番号】 000002185

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100082131

【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿7丁目5番8号 GOWA西新宿ビル6F 稲本国際特許事務所

【氏名又は名称】 稲本 義雄

【提出された物件の記事】

【提出物件名】 理由書 1

発明報告書（受付番号97051066）表紙コピー 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号  
氏 名 ソニー株式会社

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**